

# 後援会だより

第31号

2021年3月15日発行

編集発行／鹿児島大学法文学部後援会

## 本誌の案内

- ごあいさつ
  - 後援会会長・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
  - 法文学部長（後援会顧問）・・・・・・・・・・2
- 専門職大学院報告
  - 臨床心理学研究科長・・・・・・・・・・2
- 就職支援事業
  - 令和2年度就職支援室活動報告・・・・・・・・3
  - 就職活動にかかる交通費の一部支援事業・・・・4
- 主な支援事業の成果報告
  - 各種実習への支援（国内）・・・・・・・・・・5
- 広報活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- 令和2年度保護者アンケート集計結果・・・・・・・・7
- 令和2年度後援会役員一覧・・・・・・・・・・16

## 後援会会長ごあいさつ

法文学部後援会会長 南 芳浩



新たな感染症に翻弄された令和2年度も終わりを迎えようとしています。

このたび、鹿児島大学・大学院を卒業・修了されます学生の皆様と保護者の皆様に心からお祝いを申し上げますとともに、これまでの

の本会の運営に対する御理解と御協力に感謝申し上げます。

私事ながら、私の子も本学を卒業することになりました。

この4年間、講義やゼミ、サークル活動と、傍目からもとても充実していたように見えました。先生方を始め、関係の皆様改めて感謝申し上げます。

さて、私の子は自宅からの通学でしたが、親元を離れて在学しておられる学生の皆さんにこの鹿児島はどのように映っているのでしょうか。私自身、初めて親元を離れて過ごした大学4年間の地は、まさに第二のふるさとと呼ぶにふさわしい、感謝と思い出のたくさん詰まった場所になっています。多くの学友たちも今は賀状のやりとりくらいになってしまいましたが、賀状を見るたびに思い出すのは、彼の地の風景と人々の温かさです。

縁あってこの鹿児島で共に学んだ学生たちが、お

互いの絆と、この鹿児島の風景をこれからを生き抜く糧として大切に心に留め、大事をなさうするときや壁に突き当たったときに、それらが支えになってくれることを願っています。そのためにも、私たち保護者など周りの者が鹿児島に限らずそれぞれ今おられる地の風土や歴史を知り、愛着を持って地域に接する姿を見せることが大事なのではないかと思っています。

さて、子の卒業と同時に私もこの後援会を離れることとなります。理事として2年、会長として2年、本会の運営に関わらせていただきました。この間、皆様には様々な形で御支援を賜り、誠にありがとうございました。本年度は総会も書面での開催となるなど、意見交換や会員相互の交流もかかないませんでした。会員の皆様には、大学の教育目標の効果的な達成のため、今後とも本会の趣旨を御理解の上、引き続き御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 法文学部長ごあいさつ

法文学部長（後援会顧問） 松田 忠大

法文学部後援会会員の皆様には、日頃より、法文学部の教育研究活動にご支援を賜り、誠にありがとうございます。



新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、法文学部では、前期中は、基本的には遠隔授業を継続して参りました。後期に入り、鹿児島大学の全学的な取り組みとして、「スクーリング（登校）」期間が設定され、法文学部でも、この期間中に1年生の授業を中心に一部の授業を対面方式で実施いたしました。入学当初より、対面授業がなく、多くの1年生は大きな不安の中で過ごされていたことと思いますが、後期に入り、ようやくキャンパスへの登校、教室で行われる教育活動への参加が実現したことになります。

後期には鹿児島県内の感染状況も落ち着き、通常のエデュケーション活動が再開できるような状況に好転することを願っておりましたが、昨年11月中旬には、郡元キャンパスで、サークル活動に関連する、本学初めての学生のクラスター感染が確認されました。その後も、学生の感染が漸続的に確認され、全学的に危機感が一気に高まりました。1月以降は、大学入学共通テスト、各種入試が実施されることに鑑み、残念ながら遠隔授業に逆戻りをせざるを得ない状況になってしまいました。

令和2年度は、後援会会員の皆様にも、本学部の教育活動についてたいへんご心配をおかけしたことを思います。学生および教職員の感染防止、健康の維持を最優先に考えた結果、通常のエデュケーション活動に戻すことはできず、1年を通じて基本的には遠隔方式の授業を実施せざるを得ませんでした。メディアにより報じられたように、大学における遠隔授業の継続は様々な批判に晒されました。しかし、遠隔方式の授業には、デメリットだけがあるわけではありません。例えば、オンデマンド型（ビデオ配信型）の授業については、学生の側から「繰り返し視聴できる」といったメリットを指摘する声もあります。また、海外への渡航制限の関係で、今年度は海外研修を実施することはできませんでしたが、海外の大学からの授業配信によるオンライン型の海外研修を行う例もあります。対面方式の授業が望ましいですが、新型コロナウイルス感染症収束後も、遠隔授業の経験を部分的に活用することにより、さらに

教育効果を高めることができるかもしれません。

平成29年（2017年）の改組により、法文学部は現在の教育研究組織になりました。今年度、学部改組の総括を行うため、昨年11月に外部有識者等による「学部評価委員会」を開催しました。いくつかの改善点が指摘されたものの、鹿児島における法文学部の必要性・重要性は再確認されました。来年度は、今年度よりも対面授業を増加させる予定ですが、法文学部では、どのような状況にあっても、様々な工夫を凝らした教育活動を行い、これまで以上の教育効果が発揮できるよう努めて参ります。後援会会員の皆様には、引き続きご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 専門職大学院報告

### ◎臨床心理学研究科

鹿児島大学大学院

臨床心理学研究科長 宇都宮 敦浩

平成19年度に臨床心理学研究科が設置されて以来、後援会の皆様には多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。おかげさまで、設置後14年が経過しつつあり、修了生も180名を超え、その多くが臨床心理士として様々な現場で活躍をしております。この間、後援会には、学外実習における学生への交通費の補助や就職活動に係る旅費の援助など、様々な形でご支援を得て参りました。改めて感謝申し上げます。

さて、第二次世界大戦以来の世界的危機と言われる新型コロナウイルス感染症の拡大によって、約1年前には想像もできなかったほど世の中は変わってしまい、収束も終息も見えない状況の中で今なお様々な対応と変化が求められています。その実態が“未知”であるだけに、人々は「感染したらどうなるのか」、「隔離されたらどうなるのか」、「仕事はどうなるのか」、「学業はどうなるのか」といった種々の不安や恐れにとらわれやすく、これがストレスとして蓄積され、身体的には感染していないにもかかわらず、精神的に疲弊して健康を害してしまうことがあると言われています。ウィズコロナやニューノーマルといった新たな日常が求められている今日において、この“心理的感染”に対するケアの問題や支援に携わる心の専門家の育成は、今後益々重要になってくると思われ、本研究科に与えられた

使命の大きさを改めて実感しています。国民の心の健康に寄与する高度専門職業人の養成を目指して、これからも充実した教育の提供と人材育成に努めてまいりたいと思います。

コロナ禍の中におきましても、法文学部を初めとした関係者の皆様のご協力を得て、遠隔授業よりも対面授業を多く取り入れながら、学生達は学業に取り組むことができました。最も懸念された学外自習に関しましても、一部実施が困難な実習先はありましたが、厚生労働省の通知に従って代替学修を行ったり、新たな実習先を複数開拓したりするなどして、単位保障することができました。その意味では、本研究科の学生は恵まれていたと言えます。まだまだ予断を許さず、先が見えない状況が続きますが、未知の感染症を正しく恐れつつ、そして、未知の不安との向き合い方を模索しつつ、皆様とともに未曾有の危機を乗り越えていきたいと思ひます。

## 就職支援室より

### ◎令和2年度就職支援室活動報告

就職支援室長 藤田 紘一

2021年大卒の就職環境は新型コロナウイルス感染症の影響により就職・採用活動の時期が遅れたことに加え、業界や企業によって業績悪化を理由に採用計画の大幅な見直しを余儀なくされ、採用縮小や中止といった非常に厳しい状況が続きました。このため、学生は志望を急遽変更せざるを得なかったことや今まで先輩たちが経験しなかったWEB面接の対応に上手く適応できず、内定率も前年と比べて悪化し苦戦を強いられた、法文学部の現4年生の12月1日時点の就職内定率は70.5%で前年同期に比べ4.5ポイント下回る低い内定率となりました。

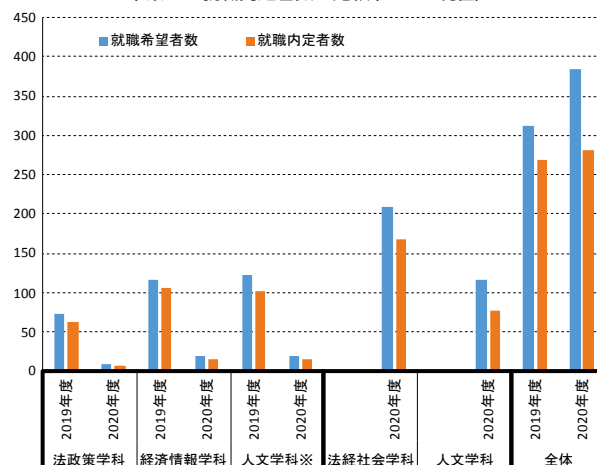
2022年卒業見込みの現3年生の就職活動においても、新型コロナウイルス感染症の収束は困難視され、引き続きWEB面接は必至と思われることから、今回はWEB面接で注意すべき点について述べてみたいと思ひます。

#### 1. 面接直前フェーズ

##### ◇WEB面接に使用する端末を固定する

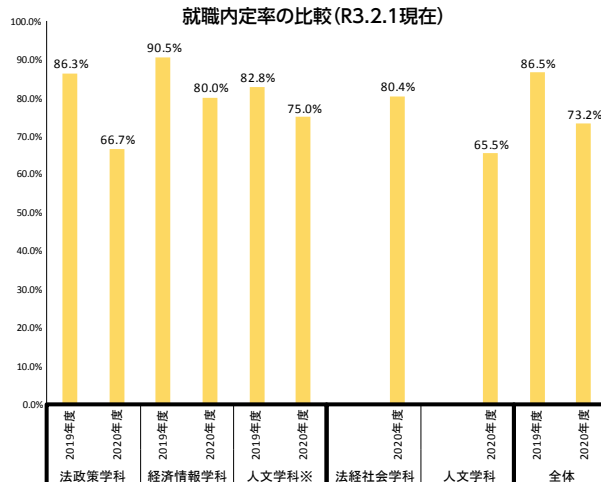
スマホやタブレットを使用する場合、手持ちではなく固定する。また、パソコンを使用する場合でも、カメラを顔の高さに合わせる。顔の5度上か

卒業生の就職内定者数の比較(R3.2.1現在)



【人文学科※】は旧カリキュラムとして区別しています。

就職内定率の比較(R3.2.1現在)



【人文学科※】は旧カリキュラムとして区別しています。

ら撮影すると、目ははっきりし顎がシャープに映るそうです。

##### ◇映像の確認をする

端末を固定したら、実際に映像を映して確認する。面接場所が自室であれば、少なくとも画面に映る範囲にもものは片づけておいてください。また、顔が暗くなりすぎていないかもチェックが必要です。面接では、やはり第一印象が重要です。

##### ◇服装の確認をする

WEB面接だからといって、服装をないがしろにしてはいけません。面接官はカメラ越しでも服装までしっかり見ていますので、カメラに映らない下半身の服装も含めきっちり面接マナーに則った服装を用意する。

#### 2. いよいよ本番！面接中フェーズ

##### ◇最初の挨拶はハキハキと

第一印象が良いと、その後の内容も受け入れやすくなるため、挨拶は非常に重要です。笑顔でハキハキと明るい挨拶をして、暗いイメージにならないように気を付ける。

#### ◇焦らず間を置いて話す

ビデオ通話をしているとタイムラグが生じることがあります。相手に質問を投げかけられてから、間を置かず話してしまうとせっかちな印象を与えかねません。緊張もあるとは思いますが、落ち着いて話すことがいい結果を生みます。

#### ◇視線はWEBカメラのレンズへ

画面に映った相手の目を見て話していても、相手からは視線が下がっているように見えてしまいます。あなたの顔を映しているのはWEBカメラのレンズなので、ここを見ながら話すように心がける。

#### ◇声の大きさは普段より少し大きめに

接続上の問題で聞こえづらいこともまれにあります。WEB面接では、声のボリュームを少し大きめに発生することを意識する。一語一語、ハキハキと。

#### ◇表情について最後まで気を抜かない

竿後の挨拶が終わってもまだ面接官に応募者が見えている場合もあるので、面接の画面が消えるまで笑顔をキープする。

以上最低注意すべき点を述べましたが、何をやるにも「初めてのこと」は、勝手がわからなくて不安がつきものです。今回は、就活生の皆さんがWEB面接で気持ち良いスタートダッシュが切れるように対策を取り上げましたので、活用していただきたいと思います。

### ◎就職活動に係る交通費の一部支援事業

法文学部後援会では、学生が就職活動中に支出した交通費の一部を補助する事業を行っています。少しでも学生の負担を軽減できればと願っています。ここでは、この支援事業を利用して就職活動を行った学生からの報告を掲載しました。学生たちの就職活動の現状を知る参考にしていただければ幸いです。

#### ◆交通費支援を受けて

人文学科4年 今久保 七聖

私が就職活動を始めたときは、留学帰りで貯金もなく、さらに運が悪いことにコロナウイルスのせいでアルバイトもろくにないような状況であった。一人暮らしも継続できず家賃や生活費が払えないため実家に帰ったほど金がなかった。ただ、金がな

いからと言って就職活動をやめることはできない。交通費が用意できないから就活をせず無職決定で卒業しますではさすがに世間体や私のメンタルがやられてしまうので、金がないなりに就職活動はしなければならなかった。行きたい企業が東京や福岡での説明会しか開いておらず、交通費の支払いで私のクレジットカードの明細は徐々に埋め尽くされていった。収入はないのに支出はぶくぶくと増えていき、消費者金融の五文字が頭をよぎった。しかしそこで運よく大学の友人が私に教えてくれたのが、(法文学部)後援会の就活の交通費援助である。一人5000円までということであったが、五千円もあれば鹿児島大学の提供する東京の宿泊施設に三日は泊まれるし、高速バスで鹿児島から福岡に行くこともできる。何より、一日のアルバイト代に相当するほどのお金を(法文学部)後援会が支援として学生に支給してくれるなんてこれはありがたい。私は友人からこのいい知らせを聞いてから、少しもためらうことなく交通費支援の準備に取り掛かった。

結論から言うと私の就職活動は平均よりも難航していた。内定を獲得できたのは11月の終わりで、もうほぼこれは冬である。もともと志望していた業界はコロナウイルスの影響により途中で新卒採用を中止し、私の就職活動は何度も強制的にリスタートさせられた。しかし支援を受けながらなんとか人よりかは遅れたものの内定を得ることができた。アルバイトもなく貯金もなく困窮していた私が内定を獲得できたのは(法文学部)後援会の支えがあったからこそであった。コロナウイルスで世間が混乱している時期に就職支援を受けたため、身を以て支援のありがたさを感じている。

#### ◆交通費支援を受けて

法経社会学科4年 中俣 智貴

私は鹿児島大学に入学した際から決めていた公務員になるという目標をかなえるために大学2年生の10月から公務員試験勉強を始めました。試験の対策のために専門学校に通うことを決め、それに伴い学生期間のアルバイトはほとんど入れなくなってしまいました。また一般的な公務員志望の学生よりも早い期間から専門学校に通っていたため、就職活動が始まるまでにあまり貯金をできずにいました。そんな中、公務員試験の受験先の一つである国立病院機構の面接が福岡県で開催されるという発表を拝見しました。日々節約した生活を送ってお



り、福岡県までの新幹線代には試験先からの交通費も出ないということだったので、そこにお金を割こうか私は悩んでおりました。そうした際に鹿児島大学の後援会が実施する交通費の一部支援があるということを目にして、ぜひこの支援を利用させていただいて自分の将来の選択肢の一つとして挑戦しようと決意するきっかけとなりました。人生における大きな節目である就職活動における移動費の支援が受けられるということはとても有難く感じました。

実際に福岡県の会場で面接試験を受けて、自らにとってとても貴重な経験ができたとともに、この経験は後援会からの補助費があったからこそ生まれたものであると感じ、改めて後援会支援を受けて本当によかったなと思えました。私自身の就職活動は多くの方に支えられていると実感する日々でした。この場をお借りしてご支援してくださった皆様に御礼申し上げます。

## ◆交通費支援を受けて

法経社会学科4年 新原 千尋

私が本格的に就職活動を始めたのは、4年次の5月頃でした。当時私は、1年間交換留学をする予定で中国にいました。新型コロナウイルスの影響で留学は2月時点で、約半年間、中止になってしまい途中帰国したのですが、就活準備を全くしていなかった私は留学を諦めきる踏ん切りがつかず、結果就活のスタートが遅れてしまいました。

私たちの代21卒は、新型コロナウイルスの煽りをうけ「売り手市場」と呼ばれていた一つ上の世代と打って変わって、リモート面接やオンライン説明会が主流になり企業側も学生側も新しい手法に慣れない中での就職活動でした。学校に行く機会もなくなり、友人や教授に相談する機会もあまりない中、企業研究を進める日々は不安でいっぱいでした。

東京での就職を志していた私は、5月に発令された緊急事態宣言により東京に行くこと自体が困難になりリモート対応をしている企業に絞って就活を行っていました。しかし、最終面接は対面のところも多く就活が終盤になるにつれ東京に行く必要ができませんでした。そんな折、友人から後援会が実施する交通費一部支援について教えてもらい申し込みました。面接の結果は無事内定を頂くことができました。4月からは新たな場所で、「将来形に残るモノづくりをする」という目標を達成するために勉強

して頑張っていきたいと考えています。ご支援してくださった皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

## 主な支援事業の成果報告

法文学部後援会では、会員の皆さまからお預かりした会費を、学生が国内外で行う調査実習の旅費や、教育・研究活動の経費の補助に活用しています。ここでは、その一部を成果報告としてご紹介します。

また、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策などで予定をしていた国内外での実習や教育・研究活動を延期または中止せざるを得ない状況となりました。一日も早くこの事態が収束に向かいますことを心から願っております。

## ◎各種実習への支援（国内）

### ◆臨床心理士養成に向けた 学外施設実習を通じて学んだこと

臨床心理学研究科2年 北岡 桃代

私は今回、鹿児島県立始良病院にて学外実習をさせていただきました。鹿児島県立始良病院は、鹿児島県内で唯一の公立単科精神科病院です。精神科救急病棟や触法精神障害者に対応した医療観察法病棟などを持ち合わせており、児童・思春期から老年期疾患、精神科特殊治療など、多様な精神科医療のニーズに対応できるよう整備されています。私は、医療保護観察法病棟において医療スタッフの方々が患者様と接する際に大切にされていることについて、入院患者の地域移行・地域定着に向けた支援の中での難しさや実際の取り組みについて学びたいと思い、実習に臨みました。

実習では、精神科における心理士・精神保健福祉士・作業療法士の業務と役割についての講義、医療観察法病棟における心理士・精神保健福祉士・作業療法士の業務と役割についての講義、作業療法活動見学、始良市地域活動センター見学など、大変貴重な体験をさせていただきました。特に印象深かったことは、医療観察入院をされている方への治療において、内省や病識の獲得という重要なプログラムにおいて、各専門スタッフが患者様を丁寧にアセスメントし、一緒に乗り越えていくという細やかで温

かい姿勢を大切にされていることです。心理士としての専門性を活かしながら他職種との連携を図り、患者様の利益を第一に考えて支援にあたるという姿勢は、これから私が心理士として現場で働く上でも大切にしていきたいと改めて実感することができました。

今回の実習にあたり、後援会の皆様には温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。精神科病院で働かれる心理士の方の様子や、多職種との協働・連携の様子、それぞれのスタッフが大切にされている患者様への姿勢などを実際に見聞きすることができ、実際の現場に出て働く際のビジョンがより明確になるとともに、心理士として働いていく上での心構えを数多く学ぶ機会となりました。本実習で得た学びを胸に、今後もより一層精進してまいります。

## 広報活動報告

広報委員長 中島 大輔



今年度は新型コロナウイルスの感染拡大で、法文学部の広報活動も大きな影響を受けました。6月末発行のパンフレット『鹿児島大学法文学部概要』は編集時期が対面授業の停止期間と重なったため困難を極めました。幸い4名の学生をモデルとして新緑のキャンパスで表紙を一新することができました。また新たに4名の学生に「在学生の声」を寄稿してもらいました。

8月下旬の夏季オープンキャンパスは対面での実施が見送られ、模擬授業や学部・学科・コースの紹介など、すべてオンライン形式の実施となりました。ここでも各コースから1名ずつ5名の学生に「学生からのメッセージ」としてコースの教育内容や自身の専門について紹介してもらいました。やや緊張気味の教員とは対照的に、自然な笑顔でカメラに向かって語りかける学生のメッセージは新鮮に

伝わりました。

11月14日に実施された秋季オープンキャンパス企画「郡元キャンパスの学部・学科訪問」では、感染防止のため二つの大教室に分かれて参加した高校生や保護者を前に、各コース2名から4名の学生がそれぞれのゼミや授業の内容をパワーポイントで楽しく、分かりやすく説明しました。今回、法文学部への訪問者は他学部の倍以上で56名と最も多く、出席した高校生からも「コースやゼミの内容を知ることができ、大学生活を明確にイメージすることができた」「進路選択の参考になった」「勉強へのモチベーションが上がった」との声が寄せられるなど、たいへん好評でした。

今年度はこのようにすべての企画で在学生の協力を得ました。後援会には協力学生に対し手厚いご支援をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。



## 令和2年度 保護者アンケート 集計結果

法文学部学生生活委員会では、2年ごとに保護者向けアンケートを実施しております。今年も法文学部および大学院人文社会科学研究科の保護者を対象に、後援会総会の開催通知にアンケート用紙を同封させていただき、1013名の保護者の皆様のうち476名の方から御回答をいただきました。回答率47%という高い数字でした。お忙しい中、御協力いただき、誠にありがとうございました。

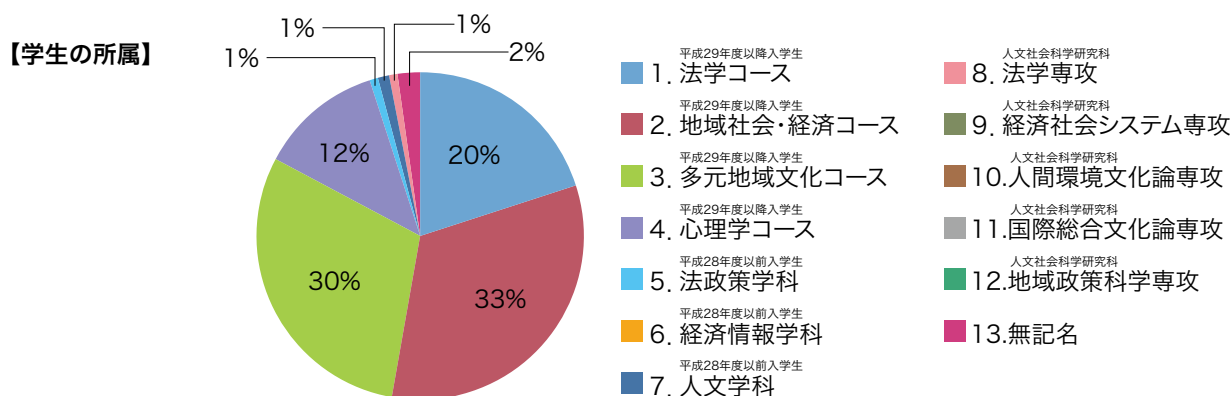
アンケートの結果を見ると、全体的に本学部・研究科に対して満足されている声が多く、私どもにとって大いに励みになる内容でしたが、一方でご心配やご不安もおありだということがよく分かり、さらなる努力が必要であると感じさせられました。特に今回のアンケートは、コロナ禍という特殊な状況下で行われたため、いただいたメッセージにはオンライン授業に関するご意見が多数ありました。そこで今回は、ご意見紹介の欄に特別に「オンライン授業」という項目を設けて、皆様からのメッセージをまとめさせていただきました。貴重なご意見を賜りましたことを感謝いたします。

アンケートの結果は、今後の法文学部及び人文社会科学研究科の教育や運営に役立たせていただきます。また特にお問合せの多かった点に関しては、最後に簡単な説明を加えさせていただきました。ご参考になれば幸いです。

今後も保護者の皆様の御期待に添えられるよう一層の努力をしていく所存ですので、変わらぬご支援の程よろしくお願い申し上げます。

法文学部学生生活委員会

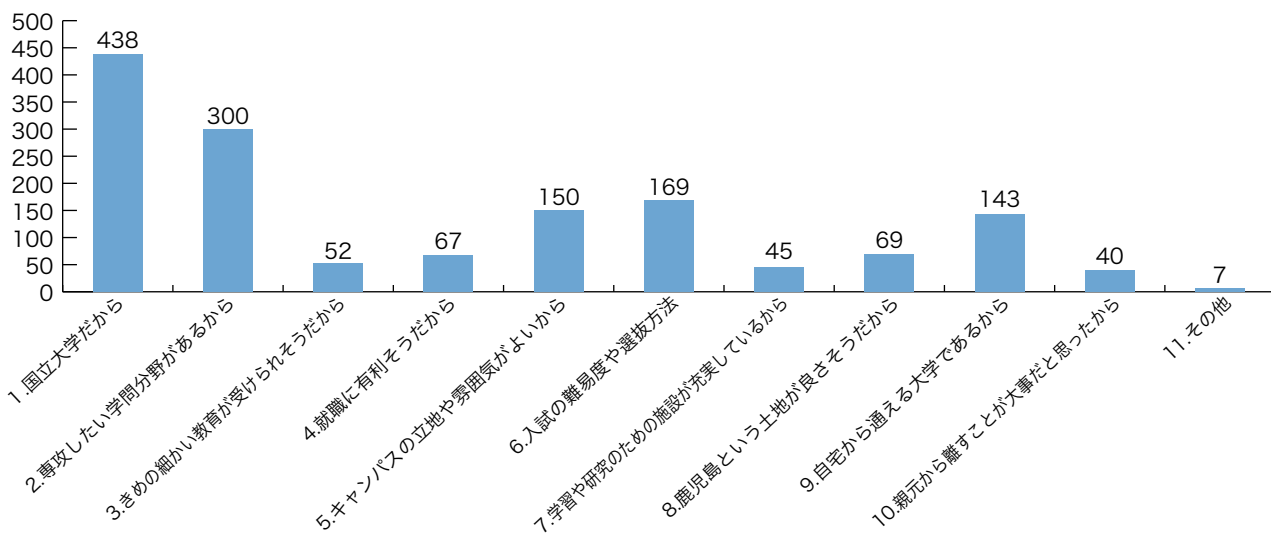
### ◆学生ご本人についてお答えください



### ◆学生ご本人の入学及び在籍中の教育等についてお答えください

#### ①学生ご本人が本学部・本研究科を選択した際に重視したことは何ですか。

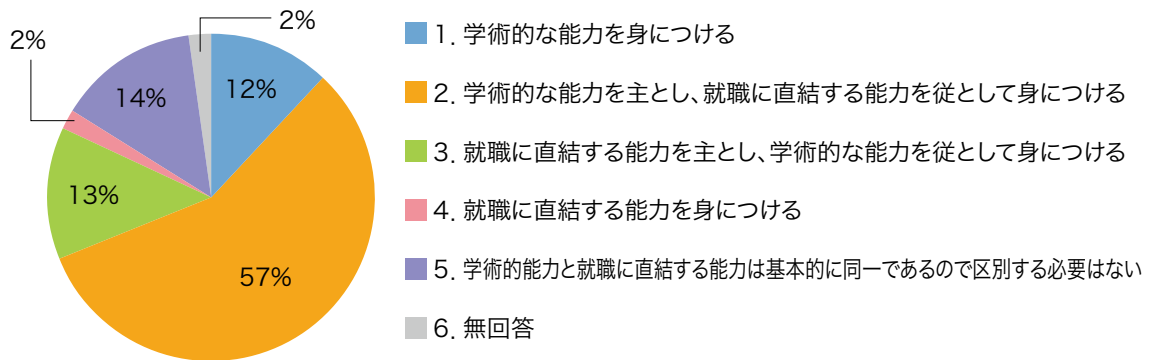
以下の項目から当てはまるものをすべて選んでお答えください。



②本学部・研究科での教育の目的について、どのようにお考えですか。

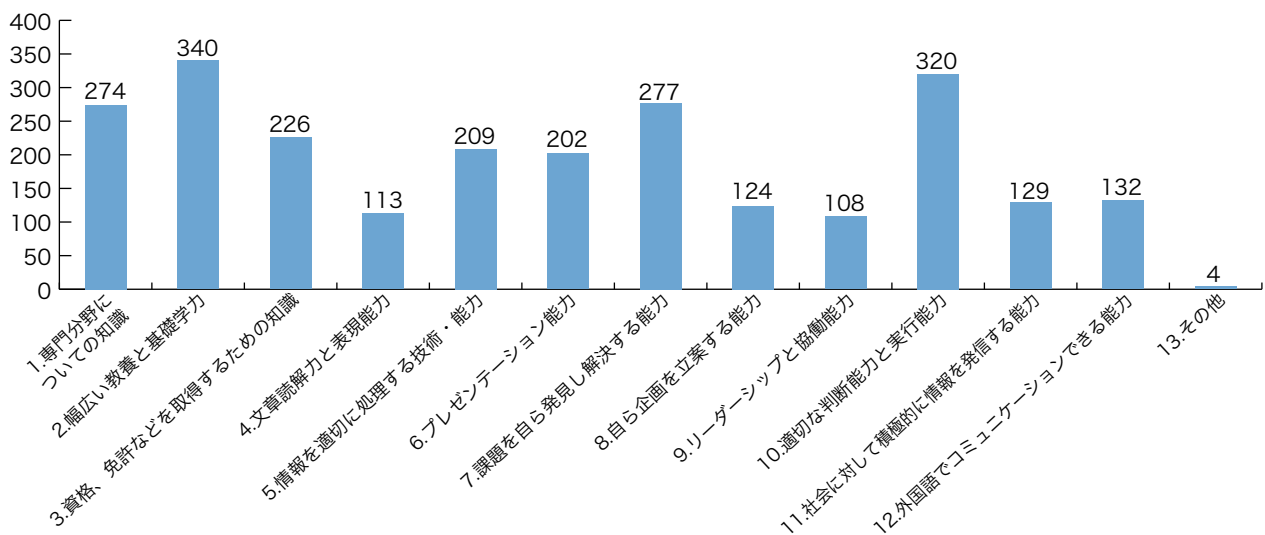
以下の項目から一つ選んでお答えください。

【教育の目的】



③学生ご本人が本学部・本研究科でどのような知識・能力を修得してほしいとお考えですか。

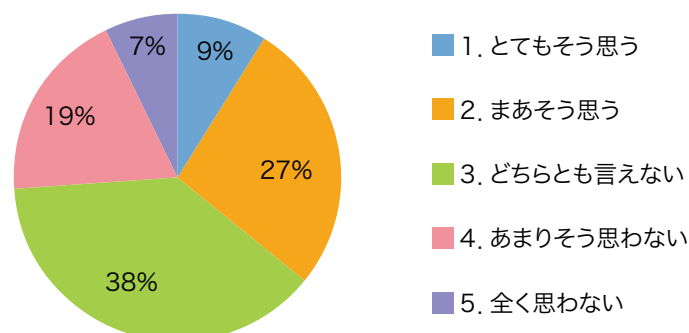
以下の項目から当てはまるものをすべて選んでお答えください。



④学生ご本人の海外留学についてお答えください。

④-1 学生ご本人に海外留学をしてもらいたいとお考えですか。以下の項目から1つ選んでお答えください。

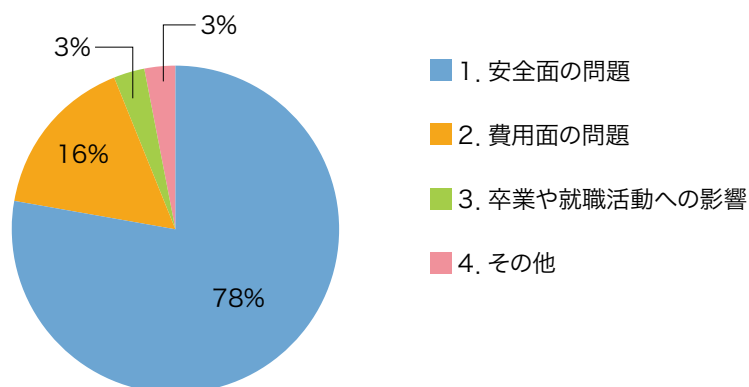
【留学希望の有無】





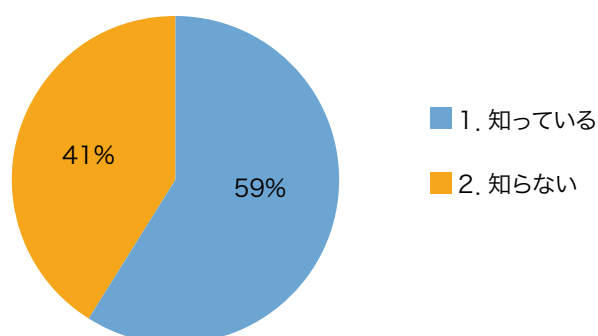
④-2 海外留学について、最も懸念されることは何ですか。以下の項目から1つ選んでお答え下さい。

【留学への懸念事項】



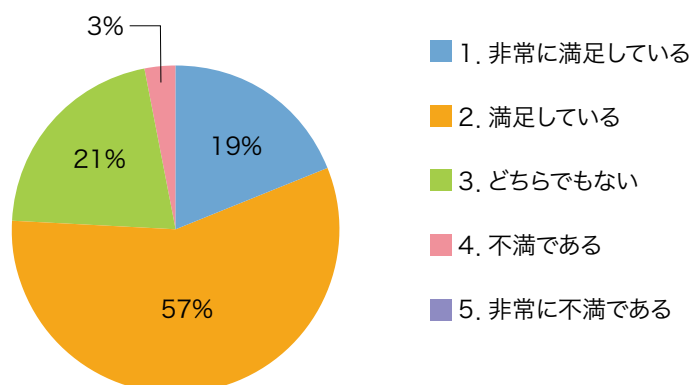
④-3 学術交流協定を締結している海外の大学との交換留学の制度があることをご存じですか。

【交換留学制度の認知度事】



⑤ 学生ご本人が本学部・本研究科で学んでいることに満足していますか。

【本学部・本研究科で学ぶことへの満足度】

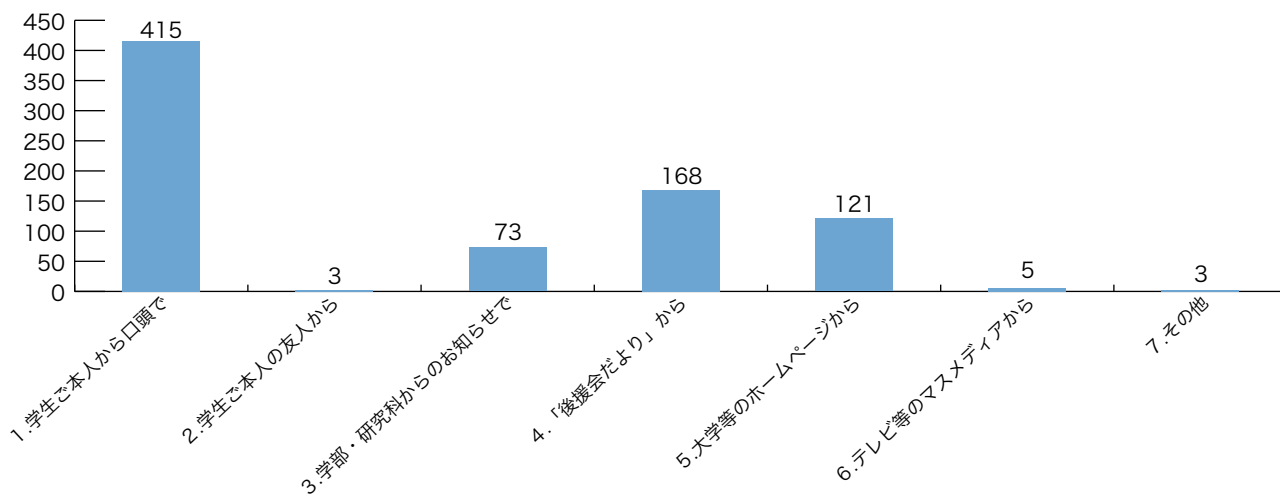


◆本学部・本研究科からの情報提供についてお答えください。

①本学部・本研究科の動向や学生ご本人の学習等についてどこから情報を得ていますか。

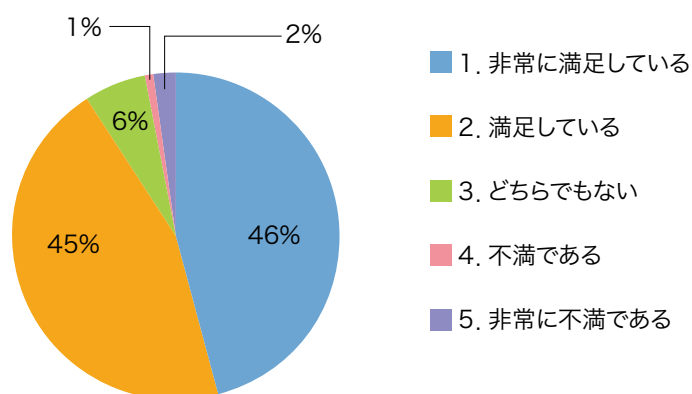
以下の項目から2つまで選んでお答えください。

【情報源】



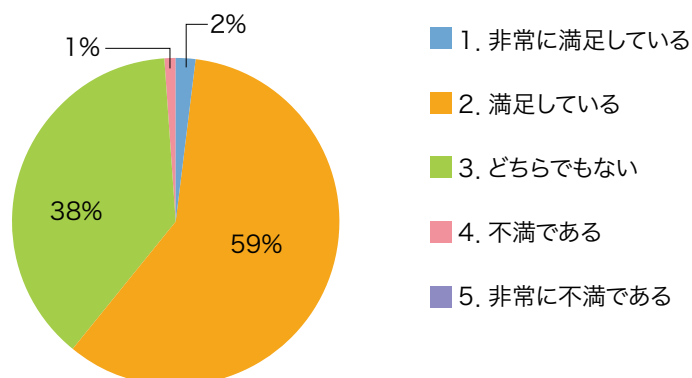
②本学部・本研究科からの情報提供に満足していますか。

【情報提供への満足度】



③「後援会だより」(年2回)の内容・刊行頻度等について満足していますか。

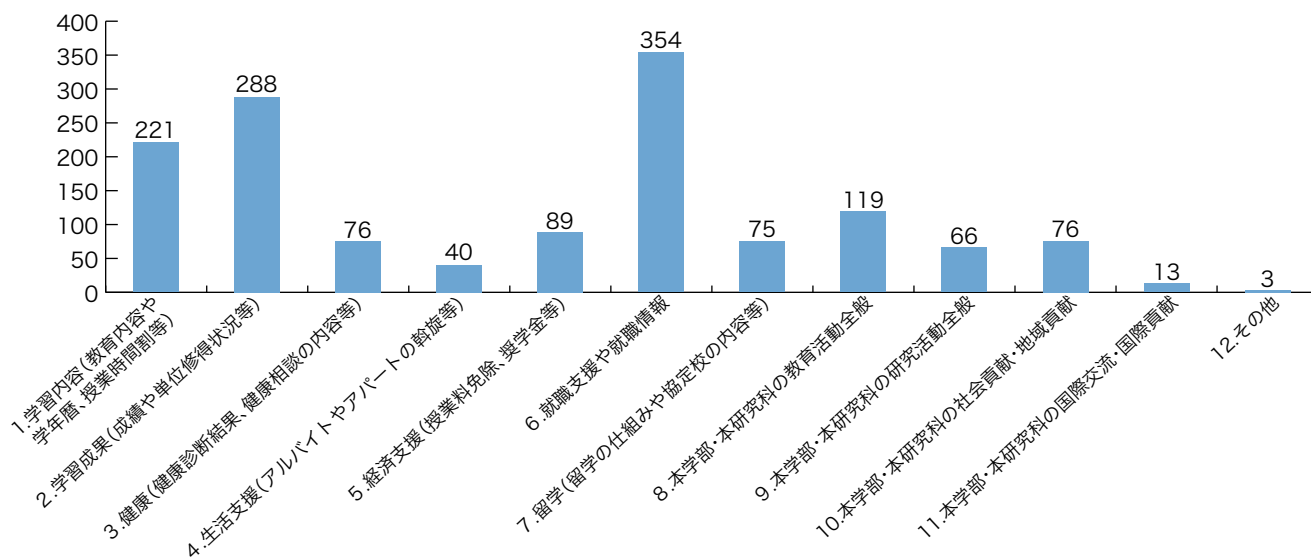
【後援会だよりへの満足度】



④学生ご本人に関連して、もっと知らせてほしい情報は何ですか。

以下の項目から、4つまで選んでお答えください。

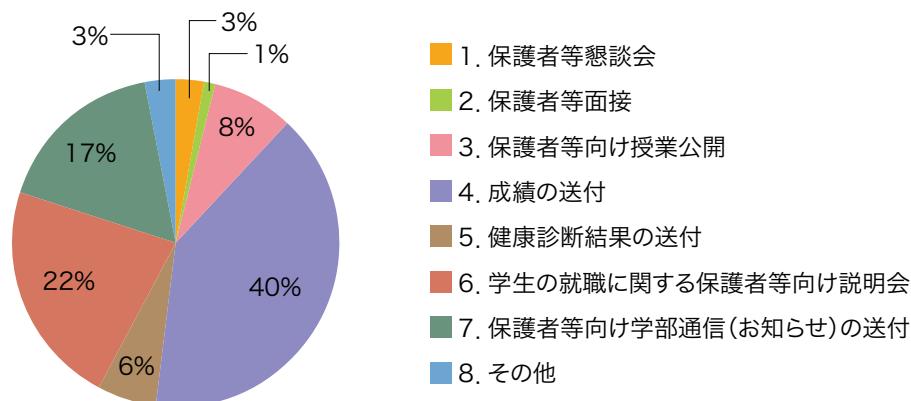
【知らせてほしい情報】



⑤保護者向けに実施してほしいことは何ですか。

以下の項目から1つだけ選んでお答えください。

【実施希望事業】



◆其他要望やご意見等(※項目の関係上、一部改変・分割しています。)

●教育・研究・成績通知

- ◇子供の授業風景を授業参観のようなかたちで参加できたら大変うれしいです。
- ◇志学館大学で行われているような、資格取得対策講座(行政書士や社労士等)を開講してほしい。
- ◇学校内の勉強だけでなく、実社会に出ていく機会を増やしてほしい。専門分野の学習が社会で活かせるようにしてほしい。
- ◇法文学部も何かしらの手立てより、ゼミ等を学内にて受講できたらと思います。
- ◇卒業して社会人として働けるような教育をお願いしたいです。本人の自覚ですけど。
- ◇成績の送付など確かに保護者としては安心しますが、昔は保護者の関わりはなく、本人の自主責任のもとで過ごしていましたが、どっちがいいのか…。
- ◇全面的に子供に任せているのですが、子供からの情報が全くありません。もう少し大学からの情報が欲しいです。他の私

立大などは単位などの状況とか出席簿などのことも保護者に伝えてくれているようです。同じようには望んでいませんが、大丈夫なのかと心配になっています。

- ◇単位修得の状況が分かりません。一覧等を送付していただきたいです。
- ◇前期だけでなく、後期の成績も郵送で知らせてほしい。
- ◇本人と連絡が取れないことが多々あり、安否を心配することがあります。授業の出欠がネットで確認することができれば、安心材料の1つになるので、検討していただきたいです。帰省した際には、大学で学習したことを興味深く話してくれて、充実した大学生活がおくれているのだろうと鹿児島大学の方にはいつも感謝しています。ありがとうございました。

## ● 留学関係

- ◇海外の大学との交換留学制度で、子どもが留学をできる環境は、大変ありがたいことですが、このような状況で延期になり、心配しています。留学の権利が、継続されることを安心していますが、留学が実現できることを祈っています。
- ◇留学についての情報、費用などについて詳しく知ることができたらと思います。
- ◇学を扱っている担当課からの積極的な情報発信がありますとありがたいです。(コロナにより、留学が中止等になっている生徒達の不安が大きいです。)今後ともよろしくお願いします。
- ◇1年生後期の履修登録をする際に「グローバルコース」1～4年を履修しようと考えていたようですが、3年の夏に1ヵ月の留学があると分かり、悩みに悩んだ末、諦めていました。理由は3年の夏には「公務員講座」を受けたい(週6回程度と聞きました)とのことでした。このような学生のために、留学は1年生時でも、2年時でも柔軟に選択できるようにしてほしいと願います。

## ● 資格・就職関係

- ◇資格や免許等の指導、支援の充実。
- ◇同封の就職活動体験報告集はとても良かったです。子供は4年生ですが、初めて送付された気がします。1年生の時からあればもっと助かったのと思いました。
- ◇「就職活動体験報告集」、「就職について」が大変参考になりました。
- ◇鹿児島県外出身者は就職の際、地元での就職情報を得やすいよう、アドバイスをお願いします。
- ◇コロナ禍で就職活動やインターンシップが次々と中止になったので、直接体験による体験活動ができるような支援をしてもらいたい。
- ◇Uターン就職を希望する学生へのアドバイスや相談など支援して頂けるとうれしいです。
- ◇法文学部後援会の皆様お世話になりありがとうございます。①法文学部就職委員会の就職活動体験報告集2019年度版  
②就職について2019年度卒業生の就職内定状況(2020年4月1日現在)裏表2種☆大学1、2年生本人保護者に読んでいただきたい。①は大学4卒業時3月に2020年度版は本人・保護者もらえますか?本人も興味あるでしょうし、保護者も鹿児島大学の良さを伝えられると思いますがどうでしょうか?2020年10月1日内定式の企業多いでしょうから。  
②内定率、内定者数に入っていない卒業生は「大学院進学・留学」か「国家試験・公務員試験等受験勉強」など記載があると保護者(現1～3年)は安心材料になると思います。卒業後も就職支援センターのアドバイスをうけられますか?新型コロナ関連ですます「就職」情報は親子大事ですから。
- ◇国立大学が就職に弱い印象がありましたが、鹿児島大学へ行けた為(合格)、すばらしい企業に娘が希望した所に内定を頂きました。大学でのゼミの先生のお力添えがあったからと又、授業内容も即実践で対応出来る内容であると聞かされていました。生徒によりそった大学であると思います。
- ◇本年度は大学生活最終学年だったが、コロナの影響のため、まったく対面講義や大学への通学ができない状態が続いています。就職活動もなかなか難しい状況でしたが、何とか決まり一安心ところです。残り半年となってしまった鹿児島での大学生活を思いで深いものにしてほしいと思います。
- ◇いつも大変お世話になっております。コロナ禍にあつて、学校関係者の方には、大変なご苦勞があるかと思いますが、どうか学生がこの困難にくじげずに努力を重ねて、自分が望む進路、就職実現に向けて取り組むことができますように御指導いただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



## ● 進学・大学院

◇今後の進路について、就職ではなく進学したい希望があり大学院についての情報、費用などについて詳しく知りたい。

## ● 後援会について

◇後援会総会に出席できないが、内容は知りたいので資料等を送付していただけるとありがたい。また後援会だよりへ載せて欲しい。

◇コロナにおける就職活動や授業方法（実習）など、「後援会だより」でもいいので教えていただければと思います。今回コロナの影響で子供が帰省できず話もできなかったのです。

◇後援会だよりを楽しみにしております。今後ともよろしくお願いします。

## ● オンライン授業

◇少しずつでも良いので、後期は普通の授業を受講できるように計られて欲しい

◇後期の授業について、少人数のゼミ等については、大学で講義を行ってほしい。

◇コロナ禍でオンライン授業が多いが、可能な範囲で対面授業を増やしてほしい。

◇1日も早く、対面授業に対応できる様、環境を整えてほしいです。

◇コロナ禍での教育活動は大変だと思いますが、1日も早い対面授業の実施を希望します。

◇コロナの為、本来の大学生活、学習ができていないか心配である。英語能力の低下が心配である。

◇今年度、コロナ禍の中オンライン授業となり、先生方も手探り状態で尽力されていることに大変感謝しております。キャンパスライフは楽しんでおりませんが、課題に取り組む姿から、学ぶチャンスは与えられていると実感しています。今後も、どうなるかわかりませんが、「学びたい」という意欲が満たされる大学運営、授業内容をお願いします。

◇コロナ禍での前期のオンライン授業は仕方ないと思うが、後期は是非安全な方法を取った上で、対面授業を行ってほしい。オンライン授業も対話式なら納得できるが、一方通行型の方法は好ましくない。成績の評価がわかりづらい。レポートを出したらそれに対する添削やアドバイス（フィードバック）は必須であるべき。

◇コロナ禍にあって、仕方ない面もありますが、キャンパスライフを経験できない状況が続いていることは、残念に思います。何とか対策を取りながら学生たちが「学生らしい」生活を取り戻せる環境を整えて欲しいです。特に一年生は大変です。

◇コロナ禍においてのご指導、運営等のご苦労、拝察致します。少しずつでも、積極的に対面授業にして頂き、学生らしい生活、活気あるキャンパスに早く戻る様お祈りしております。

◇対面授業が実施されていないので、子どもも親も大学の様子などが理解できないままです。これからもこのような形態で大学の授業が続くのかと思うと不安もあり、残念な気持ちです。早く充実した大学生活が送れるよう、お願いいたします。

◇入学したものの、コロナウイルスによりオンライン授業がほとんどの毎日でした。後期は少し対面での授業も計画されていると聞きました。同じ学部での友人作りに少しでも役立つと良いなと思います。実際、高校卒業後の長い春休みが続いているような感覚です。一日でも早く大学生活を楽しめる日々が訪れると良いなと思います。

◇本年度の入学生ですが、コロナ禍の影響で、まだキャンパスライフが満足におくることができている段階です。大学生活や学生間のコミュニケーションがうまくいくように、特段のフォローアップを期待します。

◇今年4月に入学した一年生の親です。かつて経験したことのない、コロナ禍で大学生活が始まり、子供もとまどいながらもリモート授業等で前期を終えました。まだこの先がどうなるのかわからず、子供も不安そうです。大学側もいろいろ大変だと思いますが、学生達のサポート等よろしくお願い致します。

◇コロナの影響でオンライン授業が続き、大学生活に希望を抱いて入学した一年生にとってとても辛い5か月でした。10月から少しずつ対面も始まるようですが、子供もととても楽しみにしている様子です。学部内で流行させないことはもちろん大切ですが、状況をみながら学生の気持ちも大切にいただけましたらありがたいです。

◇お世話になっております。コロナの中、自宅での学習となっており、なかなか大学に行けず過ごしております。親にできることは声をかけてやること、食事を作ることくらいしかできませんが、インターネットの利用のおかげで何とか毎日を過ごしております。オンライン授業にはとても感謝しております。本当にありがとうございます。これからもよろしく申し上げます。

- ◇今年はコロナウイルス感染拡大防止の観点からonline 講義に切り替えていただき、学びの工夫をしていただきありがとうございます。これまで手取り足取り学校や塾で勉強してきた子どもにとって自ら求めて学習を進めて先生方よりフィードバックのご指導をいただく形は貴重な体験だと離れたところからではありますが、感じております。
- ◇コロナの影響での遠隔授業が以前のような対面授業にすべてが早くなり、あと残りすくない大学生活を楽しめるようになってほしいと思っております。
- ◇コロナ禍で仕方ないこととはいえ、大きな希望をもって迎えた大学生活が、本来あるべき形でできないのは残念でなりません。ただ、先日、スクーリングが予定されていると知り、少しでも大学生らしい学びが可能になることを切に願っています。先生方、職員の皆様も例年と違う、また、これまでにない対応で、様々な方法を模索されていることと存じますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
- ◇学式や入学式当日の保護者説明会など、大学を参観する機会も今年は中止となり、私たち保護者もまだ一度も大学を訪れていません。キャンパスや建物、教室を見たいと思っておりますが、しばらくはその機会もないのだろうと思えます。子供もオンライン授業ばかりで、大学生になった実感がなく、通信大学生のようだと言っております。1日も早く、大学に通学できるようになり、対面でも授業や同級生たちとの交流、課外活動など本来の鹿児島大学での学生生活ができるようになることを心から祈っております。
- ◇大変お世話になっております。今年はコロナ禍により思いもよらない日常になり、世の中が大変不安になっています。せつかくの大学生活がなにもかも、ままならないことになり、親も子も心配しています。その中で、鹿大は4月20日からオンライン授業に取り組み、なんとか日常を進めていこうという取り組みをありがたく感じています。後期は学生が少しでもキャンパスに通い、週一でも月一でも先生方や友達の顔を見て、話ができる時間が少しでもありますように、と祈っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

## ● ご感想全般・その他

- ◇大学生活の4年間は精神面において一番成長する時だと思っております。社会に通用する人間になれるよう、ご指導よろしくお願ひします。
- ◇アンケートは学年別に内容をタイムリーなものに実施されては！
- ◇コロナ対策や情報、学生に対しての注意発起がとて遅かったです。積極的な情報発信があるとありがたいです。
- ◇後期もしくは来期以降、どのような授業を行っていただけるのかホームページ等で早く知らせしてほしい。
- ◇コロナ禍の中、授業対応に苦慮されていることかと思えます。ただ、学校からの連絡が遅く、情報収集に毎日あけくれ、授業よりも神経をすり減らしているようでした。早め早めに授業連絡をくださるとありがたいです。
- ◇コロナウイルス感染予防対策によって、学習面や生活面、就職に対する影響がどれだけあるのか心配です。
- ◇社会にでて、力強く生き抜く力をつけて欲しい。自分なりの故郷を愛する心を育ててほしい。
- ◇充実した学生生活を送れているようです。ありがとうございます。
- ◇遠く離れ地域で暮らす我が子をよりよい環境で学ばせていただいております。感謝しています。年に数回の大学からの便りが私を安心させてくれています。これからもよろしくお願ひします。
- ◇4年間ありがとうございました。色んな経験（一人暮らし、アルバイトなども含め）をして充実した学生生活を送れたのではないかと思っております。私たちも時折訪れ鹿児島のはららしさを目の当たりにし進学させてよかったと思っております。大学の発展をお祈り申し上げます。
- ◇お世話になっております。コロナの影響により自宅で講義を受ける日が続いております。就職が決まるまで大学にもお世話になります。よろしくお願ひします。
- ◇コロナウイルスの中で、大変だと思いますが、無事に卒業出来るよう願っています。
- ◇鹿児島の風土、周りの皆さまのあたたかさ、これからは自らも役に立てるような人間へと成長してくれる事を強く望んでいるところです。今後ともどうかよろしくお願ひいたします。保護者にまでこのようなお知らせ、意見収集の機会を設けて下さりお忙しい中、感謝申し上げます。

## おわりに

貴重なご意見を多くいただきましたが、この場をお借りしまして担当部署より情報を得られたものを含みまして、特に情報提供になればと思われることについて下記に示します。一部ご指摘の趣旨と異なるところもございますが、多くの皆様へのご参考になればという趣旨ですのでご海容いただければ幸いです。

### 1. 成績通知について

現在、法文学部では、年に1回10月上旬にのみ保護者等の皆様への成績通知を行っています。ご確認いただき、参考にしていただければ幸いです。また、回数につきましては貴重なご意見ということでお預かりいたします。

送付にあたっては、学生本人にwebへご登録いただいている保証人のご住所へ送付しておりますが、一部、住所の誤字・不足等によりお届けできていない場合がございます。該当の学生については登録住所の変更などを依頼しておりますが、保証人様におかれましても、住所の変更等ございましたら、学生へ変更の手続きをするようお伝えいただければ幸いです。

### 2. 大学院入試の情報について

他大学の大学院についての情報は、募集要項が送付されてきたものについて、就職支援室で随時閲覧可能な形で情報提供しています。

本学人文社会科学部研究科についての情報は、例年6月上旬に募集要項およびパンフレットが発行され、同時期にホームページに掲載しております。また、7月上旬と12月上旬に大学院入試説明会を実施しています。

### 3. 就職・資格関係

就職傾向の情報につき公開しているものや在学中に取れる資格の説明は、法文学部ホームページやパンフレットに記載しています。資格については、学生に配布している「修学の手引き」に記載されています。

なお、教職免許取得については、1年後期（例年2月）に「教職ガイダンス」を学生向けに実施し、「教職カルテ」と「教育職員免許状取得ガイド」を配布して、スケジュール及び単位の取り方を指導しています。興味をお持ちの学生さんご本人には是非参加するよう勧めて下さい。

また、卒業後も就職支援センターのアドバイスを受けることができます。

「就職活動体験報告集」3月頃、3年生へ、「インターンシップ体験報告集」は4月頃に3年生へ、学生係より配布しております。

※この度は、後援会総会の中止に伴い総会資料と併せて「就職体験報告集2019年度版」を保護者会員様へ送付させていただきました。

### 4. 学生の健康管理について

12月10日から全学でスクーリング期間が始まりました（25日まで）。法文学部においても1年生対象の科目を中心に対面形式で授業が行われています。スクーリング期間外でも小人数の演習や実習、講義など55の授業において、教室の喚起や消毒、アクリル板の使用などの感染対策を取りながら対面授業が実施されています。

保健管理センターでは一般診療や健康相談を行っています（通常は平日16時まで）。医師が常駐し可能な限りの対応をしているので、体や心の不調については、すぐに相談していただきたいと思っております（感染症のおそれのある場合は事前に電話連絡のこと）。診察と医師の判断により行われるその場で可能な検査は無料です。

## 5. 法文学部ホームページについて

従来ご指摘を受けております法文学部ホームページですが、限られた人員、予算制限の中で少しずつ改善を図っております。学生用に必要な情報提供の充実とともに、在学生や卒業生の活躍を紹介する企画を進めていますことをご報告申し上げます。

貴重なご意見や励ましとご理解の記載を誠に有り難うございました。重ねて御礼申し上げます。

## 令和2年度後援会役員一覧

会 長：南 芳浩	副 会 長：深江直美	理 事〔教 員〕：
顧 問：松田忠大	常任理事：藤内哲也	(法経社会学科) 桑原 司、森尾成之
理 事〔保護者・社会人学生(本人)〕：		(人文学科) 榊原良太、三木夏華
(法経社会学科) 南 芳浩、訖摩朋子		(臨床心理学研究科) 稲谷ふみ枝
(人文学科) 竹内喜恵、早川 由香里		監 査：川崎伸一、澤田成章
(人文社会科学研究科) 浦元 駿		監 事：大園久裕
(臨床心理学研究科) 深江直美		

### 問い合わせ先 鹿児島大学法文学部後援会事務局

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-30 電話099-285-7510 (7602) FAX 099-285-7609  
E-mail kouenkai@leh.kagoshima-u.ac.jp 後援会ホームページ <http://www.kadai-houbun-kouenkai.jp/>